（別添資料１）

事業所名	アプリ児童デイサービス本千葉	支援プログラム（児童発達支援）	作成日	2024 年	11 月	20 日

法人（事業所）理念		人を想う(「楽しく」を一番に「皆で」行うレクリエーションにしていこう)
支援方針		私たちは「ライフスキルトレーニング」「運動」の柱を基礎に、オリジナル療育プログラム「TanQ-探求-」を実践します。 私たちは、子どもたちが将来、成長して自立した生活を送るために、可能な限り先を見て、必要なことを整え、準備していきます。
営業時間		平日 13 時 30 分から 17 時 30 分まで 学校休業日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで 送迎実施の有無：（あり）　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	〈ねらい〉①健康状態の維持・改善　②生活のリズムや生活習慣の形成　③基本的生活スキルの獲得 〈支援内容〉・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）、安定した生活リズム ・身だしなみや整え方、トイレトレーニング、衣服の着脱等の日常生活に必ず必要な身辺自立、作業能力、集団参加。 コミュニケーション能力などの生活スキルに密着したLST（ライフスキルトレーニング）を実施 ・構造化を意識した部屋の掲示物や支援（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」をボードなどを使い具体的に表示）
	運動・感覚	〈ねらい〉①姿勢と運動・動作の向上や補佐的手段の活用　②保有する感覚の総合的活用 〈支援内容〉・リズムサーキット　（パーソナルトレーニングジムyadoT（ヤドット）代表取締役　山田雅則監修　空手道場でたくさんの子どもたちを教える中で、個々の様々な体の動き方を見ている経験から、障がいを持つ子どもたちに専門家として効果的なプログラム） ・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援し、感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。「つかむ、つまむ、はる、塗る」等の微細運動を取り入れたプログラム等
	認知・行動	〈ねらい〉①認知の発達と行動の習得　②空間・時間、数等の概念形成の習得　③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う。（音楽に合わせて体を動かす遊びや運動等）
	言語 コミュニケーション	〈ねらい〉①言語の受容と表出・言語の形成と活用　②コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用　③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容する ・自己紹介、他己紹介・考えを発表したり、好きなことをプレゼンテーションする言語　　・ひらがなやカタカナ等の文字の読み書き
	人間関係 社会性	〈ねらい〉①他者との関わり　②自己の理解と行動の調整　③仲間づくりと集団への参加 ・集団での役割分担のある遊びやルールの理解が必要な遊び、集団活動・地域施設などへの社会見学、イベントなどを通した地域との交流
家族支援		小学校へ移行する前の発達課題等を乗り越えるため、困り事に寄り添いながら、当所での様子を丁寧に伝えたり、ご家庭での様子を伺うなど情報交換し、ご家族の心配ごとへの助言を行う。
移行支援		保育園や幼稚園から小学校へ移行するのにあたり、課題を明確にし支援に当たる。小学生以上の児童との関わりをもつことにより、小学校での生活リズムやコミュニケーションがスムーズにできるように支援する。
地域支援・地域連携		保育園や幼稚園と連携し、地域の中のこどもの居場所づくりという観点を持ちながら、地域の社会資源を積極的に活用し、遊びや体験、交流の場を広げる。
職員の質の向上		年間計画に基づき各種研修を実施 新卒研修や中途研修はもちろん、各自様々なテーマについてオンライン研修にて受講できる体制あり
主な行事等		4月お花見、5月鯉のぼり見学、6月映画鑑賞会、7月七夕、8月夏祭り、9月運動会、10月ハロウィン、11月紅葉見学、12月クリスマス会、1月お正月、2月節分、3月ひな祭り等 通年行事　お誕生日会